

メジャーリーグのリスニング講座
サンプル Ohtani's historic doubleheader
発行者：鈴木 拓 <http://www.thebelltree.com/>

こんにちは。鈴木 拓です。

こちらはサンプルです。
ご覧いただきありがとうございます。

サンプルですので、一部だけ、問題も1問だけですが、↓の動画の1:10までご覧になった上で、↓の問題を解いてみてください。
<https://www.youtube.com/watch?v=h-C-0mkNVn0>

字幕が出てしまう場合は右下の「字幕」をクリック。
スピードは右下の「再生速度」から調整可能で、
自由に選んでいただいて大丈夫ですが、
0.75～1倍（標準）がおすすめです。（講座ではもっと詳しく解説します）

基本は1回聞いて答えていただくのですが、
レベルに合わせて「2回聞いてから」
「巻き戻しOKとする」など、工夫していただいて大丈夫です。

それでは、問題の出題です。

問題2 Why was the 99-mile-an-hour fastball upstairs effective according to the commentator?

- (A) Because it was fast.
 - (B) Because it looked like it might be a curveball, and he threw it earlier.
 - (C) Because this batter is not good at handling a fastball.
 - (D) Because his curveball was slow.

(ここから、解答と解説ですが、問題を解く前に見てしまわないように、
間を空けます)

・
・
・

(ここまで。ここから解答と解説です)

■ Matt Vasgersian (Play-by-play announcer): Last time out for Shohei Ohtani was a winner on Friday at home against the Pirates, a night in which he struck out nine, walked only one and it was his eighth winner of the year.

「大谷の前回の登板は金曜日、ホームでのパイレーツ戦での勝利で、9奪三振で、1人にしか四球を与える、今年の8勝目の夜でした」

・ play-by-play announcer [C] 実況

実況をするアナウンサーのことをplay-by-play announcerと言います。
1プレーごとにしゃべる、という意味ですね。

・ out [名] 登板

・ winner [C] 勝利

・ walk [3V] 四球を与える

(問題1がありますが、サンプルなので略)

■ Ohtani's had mixed results on this mound. He opens the doubleheader in Detroit here today.

「大谷はこのマウンドで様々な結果になっています。今日はここデトロイトでダブルヘッダーの先発を務めます」

・ mixed result [C] 様々な結果

これは良い結果と悪い結果の両方が出ている時に使われます。

■ Vasgersian: And the one two home from Ohtani comes at him with another fastball. Swung on and missed for out number two.

「カウント1-2、大谷投げた、ストレートだ。空振り三振で、2アウト」

・ one two [名] カウント1-2

最近は日本でもそうですが、
アメリカでは、ボールを先に言い、ストライクが後です。

1-2は、1ボール2ストライクになります。

・ swung and missed [他] 空振り

■ Mark Gubicza (Color Commentator): 97 miles an hour. Yeah you just rear back and let that one go. What a good spot too with the left-handed batter.

「97マイル(156キロ)。ええ、突っ込まずに速くスイングしますよね。左打者に對していいところに投げました」

- color commentator [C] 解説

日本語で言う「解説者」は、color commentatorと言います。

元選手が務めることが多く、経験に基づく知識を付け加える。
「色付けする」というような意味で使われます。

- rear back [1V] (打撃で)突っ込まない、軸足に体重を残す

馬が後脚だけで、立ち上がるような時によく使われます。

また、バッティングで、突っ込まずに、後ろ足、軸足に体重を残す時にも使われます。

- let that one go [動] 素早く振る

- left-handed [形] 左打ちの、左投げの、左利きの

右打者は、right-handed batter。両打ちは、switch hitterと言います。

■ So difficult to bring your hands up and make contact. Down and in you have a shot. Up and in, no chance.

「手を上に持ってきて、当てることはとても難しいんです。インコースの低めなら可能性はありますが、インコース高めは無理ですね」

- make contact [動] 当てる、当たる

- down in [他] インコース低め

- have a shot [動] 可能性がある

- up and in [他] インコース高め

- no chance [他] 可能性がない

■ Vasgersian: One two pitch. He struck him out. Six in a row retired by Ohtani to start the afternoon.

「1-2からの投球。三振。大谷の前にこの午後、6者連続で凡退のスタート」

- in a row [副] 連続で

- retire [1V] 凡退する [3V] 凡退させる

基本、アウトになる、アウトを取ることを指します。

■ Vasgersian: The next one to try Barddoo. Got him.

「バドゥーへの次の投球。打ち取った」

- try [3V] (0に人を入れて)挑む、挑戦する
- get [3V] 打ち取る

■ Gubicza: First time he's got him out. Barddoo was three for three against Shohei.

「バドゥーを打ち取ったのは初めてですね。バドゥーは翔平に対して3打数3安打でした」

- three for three [他] 3打数3安打

他の組み合わせも可能です。数字 for 数字で、「何打数何安打」を表せます。

■ Gets him on a punch-out at 99-mile-an-hour fastball upstairs.

「高めへの99マイルの直球で、彼を三振に打ち取りました。」

- punch-out [C] 三振
- upstairs [副] 高め

もともとは、「上の階」と言う意味ですが、「高め」という意味でも使われます。

■ I love that spot up there. He threw a curveball earlier in the sequence. Even though it was off the plate, it starts in that same plane and then he runs a four seamer upstairs.

「この場所いいですね。この対戦でカーブを投げたんですよ。コースが外っていましたが、同じ軌道から始まるんです。そして、高めにフォーセームを投げ込みました」

- spot [C] 場所

地図などの「場所」でも使えますが、投球で、投げる場所という意味でも使えます。

- sequence [C] 対戦

厳密に言うと、打者との対戦の1打席の中での、ピッチングのコンビネーションのような意味で使われます。

- off the plate [C] コースが外れている

plateは、「ホームプレート」という意味で、off the plate投球がホームプレートから外れている、つまりコース、左右が外れていると言う意味になります。

- start in that same plane [動] 同じ軌道から始まる

カーブは高いところから低いところに投げるので、最初は高めの球に見えますが、そこから落ちてきます。

一方、高めのストレートは最初は高めの球。そして、最後まで高めです。

しかし、両方とも最初は同じ高めの球なので、最初は同じ軌道で、打者を惑わせる効果があり、そのことを言っています。

- run [3V] 投げる

基本的には、今回のように、速球を投げる時に使います。

- four seamer [3V] フォーシーム

日本語でも文句なしのストレート。最もスピードが速く、ほぼ変化せず、まっすぐに進む球です。

問題2 Why was the 99-mile-an-hour fastball upstairs effective according to the commentator?

- (A) Because it was fast.
- (B) Because it looked like it might be a curveball, and he threw it earlier.
- (C) Because this batter is not good at handling a fastball.
- (D) Because his curveball was slow.

↑の語彙解説でお話ししたように、高めのストレートは、カーブと同じ軌道から始まる。

そのカーブを前に投げていたからです。

従って、答えはBになります。

Aは、確かに速いですが、速いことだけが理由だとは言っていません。

Dも同じように、カーブが遅いことが理由とは出ていません。

Cはこのバッターの得意球は出でないので、間違い。

問題の意味

「解説者によると、99マイルの高めのストレートはなぜ効果的だったのでしょうか？」

- (A) 速かったから。
- (B) カーブのように見え、その前にカーブを投げていたから。
- (C) この打者は速球に対応するのが得意ではないから。
- (D) カーブは遅かったから。

■Vasgersian: In front of Haas one and two. Swatte Kudasai! Got him!

「ハースに対して、1-2。スワッテクダサイ！ 打ち取りました！」

- in front of [前] ～に対して

対戦打者を表す時に使います。

■ Gubicza: Paints a fastball again.

「また直球を角に決めました」

- paint [3V] ギリギリに決める

今回のように、ストライクゾーンの角にピシッとコントロールする際に使います。多くの場合、今回のように、外角低めの際に使われます。

ペンキを塗るように角を触るイメージです。

■ Vasgersian: Sit down please. Perfect through three in Detroit.

「座ってください。デトロイトで3回までパーフェクトです」

- perfect through [他] ～までパーフェクト

ヒットも許さないし、四球やエラーなどの他の出墨も許さないピッチングです。

.

.

.

.

.

講座本体のほんの一部ではございますが、
サンプルの内容は以上となります。

英語学習のお役に立てればと思っておりますので、
何卒よろしくお願ひいたします。